

# 令和7年度（2025年度）名古屋市立大学大学院人間文化研究科

## 外国人研究生募集要項

### 1 募集人員

若干名

※志願者は出願に先立ち、事前に指導を希望する教員に相談すること。

### 2 出願資格

外国人であって、次の（1）及び（2）の両方に該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 日本の大学を卒業した者又は令和7年3月末日までに卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和7年3月末日までに修了見込みの者
- ③ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月末日までに授与される見込みの者
- ④ 本学人間文化研究科において、個別の入学資格審査により(1)と同等以上の学力があると認めた者で令和7年3月31日までに22歳に達するもの

※ 上記④で出願しようとする者は、出願前に「入学資格審査」（後掲10）を受けてください。

(2) 次のいずれかに該当する者

- ① 日本学生支援機構主催による日本留学試験（EJU）の日本語で280点以上のスコア（記述、読解、聴解・聴読解の合計）を有している者  
（ただし、2022年度1回目から2024年度1回目の試験に限る。）
- ② 国際交流基金・日本国際教育支援協会主催による日本語能力試験（JLPT）のN1に合格している者  
（ただし、2022年度1回目から2024年度1回目の試験に限る。）

※市川哲、川本徹、平田雅己、毛利雅子、山本明代、吉永和加、アンドレア・カスティリオーニ、石川優、川戸貴史、佐藤美弥、椎名渉子、山田敦を指導教員として志望する場合は、上記の基準に達しない場合も出願可能（後掲「4 出願書類等」⑤に記載の書類は必ず提出してください。）

### 3 出願期間及び方法

出願期間	令和6年12月2日（月）～12月16日（月）[必着]
------	----------------------------

出願は郵送（書留速達）に限ります。窓口受付は行いません。

- 日本国内から出願書類を送付の際は、必要事項を記入した本学所定の出願書類提出用封筒の表紙を角2号の封筒（ご自身でご用意ください）に貼り付け、書留速達で郵送ください。期限までに到着しなかった場合は、受理しません。（期限内消印有効ではないので注意してください。）本学所定の出願書類提出用封筒の表紙を使用しない場合は、封筒の表面左下部分に「人間文化研究科外国人研究生出願書類在中」と朱書きしてください。
- 出願書類を受理したときは、受験票、受験案内を送付します。なお、令和7年1月20日（月）を過ぎても届かない場合は、[人間文化研究科担当（7ページ）]に照会してください。
- 国外在住者が出願する場合は、国外からの郵送による出願書類の提出は認めませんので、必ず日本国内在住の代理人が出願手続を行ってください。本学からの通知も代理人あてに行います。

### 4 出願書類等 注1

	書 類 等	摘 要
①	入 学 願 書 照 合 写 真 票 受 験 票	<p>[本学所定用紙使用]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語で記載してください。ただし、氏名は漢字又は英文字により記載し、フリガナ欄にカタカナ表記してください。</li> <li>写真は、正面、上半身、無帽、背景なし、カラー、縦4cm×横3cm、出願前3か月以内に撮影したものを貼付してください。</li> <li>受信場所は、確実に連絡のとれるところを記入してください。</li> <li>学歴は、初等教育（小学校相当）から入学、卒業（修了）ごとに記入し、大学等での研究生等、日本語学校又は専修学校等での在学歴があれば、記入してください。</li> <li>記入欄が足りない場合は、入学願書をコピーして使用する（氏名欄記入すること）もしくは別に添付（様式自由）すること。</li> </ul>
②	卒 業 証 明 書 (卒業見込証明書) <small>注) 2,3,4</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在籍又は出身の高等教育機関（大学相当）の長が作成したもの。コピーは不可。</li> <li>大学院修了（見込）者は、その修了（見込）証明書も提出してください。コピーは不可。</li> <li>出願資格の(1)の②③により出願する者は、最終学歴の学校等の長が作成したものを提出してください。コピーは不可。</li> <li>日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。（原本のコピーに書き込んでも構いませんが、原本に直接書き込まないでください。）</li> </ul>
③	成 績 証 明 書 <small>注) 2,3,4</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在籍又は出身の高等教育機関（大学相当）の長が作成したもの。コピーは不可。</li> <li>大学院修了（見込）者は、その成績証明書も提出してください。</li> <li>日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。（原本のコピーに書き込んでも構いませんが、原本に直接書き込まないでください。）</li> </ul>
④	研 究 計 画 書	<p>[本学所定用紙使用]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語で作成してください。</li> <li>本学所定の用紙に収まるよう記入してください。</li> </ul>

⑤	<p>日本語能力を示す証明書</p> <p>(日本留学試験の日本語または国際交流基金・日本国際教育支援協会主催による日本語能力試験の証明書)</p> <p>注3</p>	<p>【日本留学試験】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去2年間に受けた日本留学試験の日本語(2022年度1回目から2024年度1回目)で出願資格(2)の「要求する級・スコア」に達した試験の「受験票もしくは成績通知書のどちらかのコピー」または「EJUオンラインから印刷した成績確認書」を提出してください。</li> <li>試験日に受験票の原本を持参してください。</li> </ul> <p>【日本語能力試験】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去2年間に受けた日本語能力試験(2022年度1回目から2024年度1回目)で出願資格(2)の「要求する級・スコア」に達した試験の成績証明書を令和6年12月16日(月)までに本学に届くように提出してください。</li> </ul> <p>提出方法は、<u>上記試験実施機関から直接本学に郵送</u>してもらおう手続きをとって提出してください。(送付先:募集要項7ページ 出願書類郵送先)</p>
⑥	<p>住民票</p> <p>(外国籍の者のみ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国籍の者で在留資格がある者は提出してください。</li> <li>在留資格期間が短期の者は、パスポートに押された日本の査証の写しを提出してください。</li> <li>国外在住者が出願する場合は、パスポートの写しを提出してください。</li> </ul> <p>※個人番号(マイナンバー)が省略された住民票を取得してください。取得した住民票に個人番号が記載されている場合は、油性ペンなどを使用して塗りつぶし、完全に見えない状態で提出してください。</p>
⑦	<p>希望指導教員との連絡状況申告表</p>	<p>[本学所定用紙使用]</p> <p>日本語で作成してください。</p>
⑧	<p>検定料納付証明書</p> <p>(B票)</p>	<p>振込依頼書(本学所定のもの)を使用し、必要事項を記入の上、10,144円(入学検定料9,800円+受験票等送付のための速達郵便料金344円)を添えて銀行などで振り込んでください。(ゆうちょ銀行[旧郵便局]では取り扱いはしません。またATM等は使用せず、窓口で振り込んでください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振込手数料は志願者本人負担となります。</li> <li>銀行などから受け取った「検定料納付証明書(B票)」を他の出願書類と一緒に提出してください。「振込金(兼手数料)受領書(A票)」は入学志願者が保管してください。</li> <li>原則として既納の入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合は、納入された入学検定料を返還しますので、詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①二重で振り込みをした場合</li> <li>②入学検定料等の振り込み後、出願書類を提出しなかった場合(出願が受理されなかった場合も含む。)</li> </ul> </li> </ul>
⑨	<p>あて名用シール</p>	<p>[本学所定用紙使用]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>返信先を明記してください。受験票等の送付及び可否の通知に使用しますので、確実に受領できる住所・氏名を記入してください。</li> </ul>
⑩	<p>出願書類提出用封筒</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願書類提出用封筒の表紙(本学所定のもの)に必要事項を記入してください。自身で用意した角型2号の封筒に表紙を貼り付け、出願書類を封入し、学生課入試係宛て郵送してください。</li> </ul>

注)1 提出された出願書類は返却しません。

注)2 ②、③について再発行ができない証明書は、出願時にコピーを提出するとともに試験日の令和7年2月2日(日)に原本を試験会場へ必ず持参してください。

注)3 卒業(見込)証明書、成績証明書及び日本語能力を示す証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、改氏名したことを証明できる書類を合わせて提出してください。この場合にも同様に、コピーは不可です。日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。(原本のコピーに書き込んでも構いませんが、原本に直接書き込まないでください。)

注)4 出願資格(1)の④による入学資格審査を受けた者は、出願の際②及び③の提出は必要ありません。

## 5 入学者選抜期日及び方法

### (1) 期日、時間、科目等

試験期日	試験時間	試験科目
令和7年2月2日(日)	9:30~	口述試験(面接) 出願書類④の内容を中心に行います。

### (2) 試験会場

名古屋市立大学滝子キャンパス 1号館 [人文社会学部棟]  
(名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1)  
詳細は、受験票とともに案内を送付します。

## 6 入学許可者発表

合格発表日	令和7年2月13日(木) 10:00
-------	--------------------

1号館 [人文社会学部棟] 1階人間文化研究科掲示板に掲示するとともに、本人又は代理人あてに可否を通知します。

## 7 入学手続

### (1) 日程

手続期日(予定)	令和7年3月初旬
----------	----------

### (2) 手続方法

入学許可通知と合わせて、入学手続案内を本人又は代理人あて送付します。

### (3) 入学手続に必要な経費

ア 入学料(現行)	名古屋市住民等	69,600円
	その他の者	99,600円
イ 学生教育研究災害傷害保険料		1,000円

注1) 上記は令和6年4月入学者の金額です。令和7年度については改めて通知します。

注2) 名古屋市住民等とは、①入学者又は②入学者の配偶者若しくは1親等の親族が入学の日において同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

注3) 入学料等は入学手続時までに金融機関で納入してください。既納の納付金は、返還しません。

## 8 授業料

年額 356,400円(前期・後期分 各 178,200円)

注1) 授業料は、入学後、年2回(前期・後期)に分けて引落を実施します。

注2) 上記は令和6年4月入学者の金額です。令和7年度については改めて通知します。また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料を適用します。

注3) 必要な諸経費について別途徴収することがあります。

## 9 注意事項

- (1) 出願書類等が不備の場合は受理しません。
- (2) 出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (3) 出願書類等は返還しません。
- (4) 受信場所を変更した場合は、直ちに[人間文化研究科担当(7ページ)]に連絡してください。
- (5) 障害等により、受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、下記の期間に[人間文化研究科担当(7ページ)]まで申し出てください。

障害等配慮申請期間	令和6年11月8日(金)~11月14日(木)
-----------	------------------------

- (6) 入学期日までに正規の入国手続を済ませることができない場合は、入学許可を取り消すことがあります。  
入国許可の詳細については、下記に照会してください。

<b>名古屋出入国在留管理局</b>	
〒455-8601	名古屋市港区正保町5丁目18番地
[インフォメーションセンター]	0570-013904
	(IP、PHS、海外:03-5796-7112)
[留 学 審 査 部 門]	0570-052259

## 10 出願資格(1)の④による個別の入学資格審査について

出願資格(1)の④により出願する者は、個別資格審査申請期間内に[人間文化研究科担当(7ページ)]に届くよう、「資格審査願」、「履歴書」、「業績書」(いずれも本学所定用紙)並びに最終学歴の学校長が作成した「卒業(見込)証明書」及び「成績証明書」を郵送(書留速達)で提出してください。

コピーは不可。ただし、再発行ができないものについては、資格審査願の申請時にコピーを提出するとともに試験日の令和7年2月2日(日)に原本を試験会場へ必ず持参してください。

日本語以外で記載された書類については、その日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。

国外から申請する場合は、必ず日本国内在住の代理人が申請手続きを行ってください。(外国からの郵送による申請は受け付けませんので注意してください。)

なお、審査結果は、審査終了後速やかに本人又は代理人あてに通知します。

個別資格審査申請期間	令和6年11月8日(金)～11月14日(木) [必着]
------------	-----------------------------

申請は郵送(書留速達)に限ります。窓口受付は行いません。

## 11 個人情報の取扱い

個人情報については、名古屋市個人情報保護条例に基づいて、次のとおり取り扱います。

### (1) 個人情報の利用

- ア 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務(出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等)を行うために使用します。
- イ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を今後の入学者選抜の改善や学術研究の資料として利用する場合があります。(研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。)
- ウ 入学者の個人情報については、教務関係(学籍管理、修学指導等)、学生支援関係(健康管理等)、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

### (2) 業者への委託

上記(1)の各業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者へ委託することがあります。

## 12 緊急時における大学からのお知らせ

災害の発生時など、緊急時の連絡及び本募集要項の内容を変更する必要がある場合には、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意してください。また受験者本人へ直接連絡する場合がありますので、出願書類には必ず連絡のとれる連絡先を書くようにしてください。

本学ウェブサイト

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

## 大学院人間文化研究科 外国人研究生制度の概要

### 1 目 的

人間文化研究科の博士前期課程に入学するために必要な基礎学力と日本語能力を身につけたいと考える外国人を研究生として受け入れるものです。

### 2 在学期間

1年（ただし、1回に限り、1年以内で期間の延長が認められることがあります。）

### 3 カリキュラム

外国人研究生は、指導教員の指導の下、各学期において次に掲げる人文社会学部の授業科目を受講します。

- ・ 指導教員が担当する演習（「専門演習」等） 1科目
- ・ 専門教育科目（集中講義科目を除く。） 6科目以上  
合計7科目以上

### 4 教員（指導教員を選ぶに当たって、参考にしてください。）

（令和6年度の内容は以下の通りです。ただし、令和7年度の内容は変更する場合があります。）

氏 名	職 名	専 門 分 野	日本語資格要件※
天谷 祐子	准教授	発達心理学、教育心理学	1
アンドレア・カスティリョーニ	准教授	日本思想史	2
石川 優	准教授	ポピュラー文化研究・マンガ研究・文学理論	2
市川 哲	准教授	観光学	2
上田 敏丈	教 授	保育・幼児教育学	1
大石 真澄	講 師	メディア研究、エスノメソドロジー	1
梶浦 眞由美	准教授	第二言語習得、英語教育	1
川戸 貴史	教 授	日本中世史・社会経済史・海城アジア史	2
川本 徹	准教授	アメリカ文学・映画	2
菊地 夏野	准教授	ジェンダー/セクシュアリティ研究	1
久保田 健市	教 授	社会心理学	1
古賀 弘之	准教授	音楽教育学	1
佐藤 美弥	准教授	文化資源学・日本近現代史	2
椎名 渉子	准教授	日本語学	2
杉浦 克哉	准教授	英語学、歴史的統語論、生成文法	1
曾我 幸代	准教授	E S D	1
谷口 由希子	准教授	社会福祉学・児童福祉論	1
林 浩一郎	准教授	都市社会学	1
樋澤 吉彦	教 授	社会福祉援助技術研究	1
平田 雅己	准教授	現代アメリカの政治	2
松村 智史	准教授	社会保障論、社会福祉学、行政学	1
馬渡 玲欧	講 師	環境社会学、社会学史、社会理論	1

三浦 哲司	准教授	現代地方自治研究	1
宮下 さおり	教授	労働社会学	1
毛利 雅子	教授	異文化コミュニケーション	2
山田 敦	教授	日本植民地社会経済史	2
山田 美香	教授	比較教育学・教育史	1
山本 明代	教授	東欧及びアメリカの近現代史・多文化社会論	2
吉田 輝美	教授	高齢者福祉	1
吉永 和加	教授	近現代フランス哲学、他者論	2
米川 和雄	准教授	スクールソーシャルワーク論、精神保健福祉学、福祉心理学	1

※1は日本語能力試験（JLPT）N1あるいは日本留学試験（EJU）「日本語」280点以上を日本語資格要件とする。2は基準に達しない場合も出願可能。

注) 出願に際しては、事前に各教員の研究内容等を人間文化研究科のウェブサイト又は名古屋市立大学研究者データベース（大学院人間文化研究科）でご確認の上、指導を希望する教員に連絡し、研究内容等についてご相談ください。

人間文化研究科のウェブサイト

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/human/>

名古屋市立大学研究者データベース（大学院人間文化研究科）

<https://nrd.nagoya-cu.ac.jp/search/index.html>

※上記ウェブサイトに連絡先が掲載されていない教員については、名古屋市立大学山の畑事務室人文社会学部学務係（TEL：052-872-5808）にお問い合わせください。

### 出願書類郵送先・入学等に関する照会先

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

名古屋市立大学 学生課入試係 人間文化研究科担当

電話 052-853-8020 FAX 052-841-7428

E-mail [shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp](mailto:shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp)（日本語による対応になります。）

#### 【敷地内全面禁煙について】

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにも、この方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。